

1.1 レチノイン類

ベキサロテン Bexarotene

●タルグレチン(ミノファアゲン)

軟カプセル：75mg

【警告】1.【禁】催奇形性：

- ・妊娠希望時：
投与1月前～終了後1ヵ月以上禁忌。
- ・妊婦、
- ・男性：投与終了3ヵ月以上避妊。

2.緊急時対応できる医療施設で
専門医が処方。

3.患者、家族に説明と同意。

【特】レチノイド×受容体へ結合

→アポトシス及び

細胞周期停止で腫瘍増殖を抑制。

【効】皮膚T細胞性リンパ腫。

但し、未治療への投与は未承認。
抗癌薬と併用は未承認。

【用】a.用量は体表面積による。

1日1回 m²当たり300mg食後投与。

・副作用Grade3以上は、休業。

Grade1以下になれば：

m²当たり200mgで再開

4週で回復しないときは：中止。

・トリグリセリド200mg以上

→添付文書。

・下垂体性甲状腺機能低下に注意

→投与開始前、期間中は、

TSH、遊離T₃、T₄を定期的に検査遊離T₄が基準値から25%低下

→レボチロキシンを投与。

【体内動態】a.ピーク2.5時間、半減期4.2時間。

b.食後に比し、空腹時でC_{max}1/7に低下。

【禁】1.肝障害：重度は禁忌、他は慎重に。

2.ビタミンA類投与中→

ビタミンA過剰症様作用。

3.ビタミンA過剰症

【慎】1.肺炎の既往歴又は危険因子。

【注】1.光過敏症のため→

日光、UV光線を避ける：外出時に帽子、

衣類等で遮光、日焼け止め、

2.白内障に注意。

【併】B.慎：a.CYP2C8阻害剤で

血中濃度上昇。

b.CYP3Aの基質のAUCが低下。

c.糖尿病用薬で血糖低下。

d.紫外線療法で光過敏症。

【副】100%】A.重大：a.脂質異常：

●高トリグリセリド血症75%、

●高コレステロール血症81%、

b.肺炎、

c.●下垂体性甲状腺機能低下症93%、

d.低血糖、

e.●白血球減31%、●好中球減31%、

●貧血18%、

f.肝不全、肝機能障害、

g.感染誘発、

h.間質性肺疾患、

i.血栓塞栓症、

j.横紋筋融解症

D.高尿酸血症、食欲減退、食欲不振、低蛋白血症、●血小板増12%、活性化部分トロンボプラスチン時間延長、末梢性浮腫、骨髄機能不全、リンパ節症、白血球増、好酸球増、甲状腺刺激ホルモン減、サイロキシン減、甲状腺機能低下、洞性不整脈、QT延長、●悪心12%、●嘔吐12%、下痢、脱毛、皮膚炎、光過敏症、そう痒、発疹、皮膚障害、皮膚剥脱、腎機能障害、血中クレアチニン増、血中尿素窒素増、●頭痛12.5%、●倦怠感12%、無感情、耳管開放、片耳難聴、発声障害、浮腫、無力症、ホルモン値変動／異常、疼痛、発熱、悪寒、背部痛、白内障。